百人一首讀考抄

これといへりおのれ古人の名やう此ものゝあへたしを保
とけのこゝろいましつるえらさる法きよりありて
久しき楽れうつたるりき其ゝへ月と節と候とを
あそうへする顔なりとうきなりかさは需雑ある
つしもなしとゆひてつひに名を定めつさて此抄の
発や德のめてたきを詩んでもしるへきとすなれえ
おのれさらに詞をそへけんきらはうくあるにものは梅園堪叟
にきひのえにはるみなしさつきとゝきこふかるまん

梅桜亭 花也

ひとつれ
きのへり
まちわ
よ結ての袂哉
なきのに風もてゝ
ちるまでと
みる哉

むさしのを
八雲の川
にて
見わたされ
神代の姿
都り
とりや

梅廼門真門

うち
むれて
なるそ
くらまれ
いなり坂
おし折され
三川の
ゆく
清社

和紫亭雅子

波れ
寺参
國うちて思ふ
しらひらふ、
ちらつる
かひふ
きれの
えゆれ哉

森羅亭萬象

江戸 樋口氏

蔓子舎
筆家

そのまた
まくらに
さし梨き
名ありゑ理
そうとゝいへる
池乃あ
やめんか

信諏訪 土橋氏

越高田 吉田氏

玉札十束

めでたひ
明家年の
高殿を
なひとの
きのきに
よまし
むさし
野の

奥盛岡 毛馬内氏

森昌亭
実家

むやひ
杯く
鶴も立さに
詠ろうを
清かぬくよし
身をつなく
とうり
みる

新ちの華
荻の葉かゝけ
めのまへて
まくらにのあか
晴の夏

尚賢堂治好

越 直江津 伊藤氏

東雲の
そよゆく
よるに
衣ゆるかね
うとみの
袂の
花の下露

濤垣魚國

江戸 中村氏

江戸 田上氏

信 神代藤澤氏

東仙堂 歌名

あき
もみし
西ふえぬお
くら
しら菊の
千代を
こもれる
机の一明

錦波舎笑金

越 神田 富永氏

ほつきく
ちやまゝけ
との言伝を
老うかひすや
ワされたまふ
らむ

晋長堂 春秋

江戸 伊藤氏

かさゝし
扇子
袖にそもち添
あるさ浪の
ほとりにもらつまし
忍れぬしき恩

龍田雲山甫

大和竜田岩倉氏

邪广ふかなる
木の葉
ちらして
月ひとつ
吹のこしつる
峯の
風

梔江園 僊

江戸 細木氏

霞にもやとて
まねかし
情あるきし
寛ちまつね
それまでかくし
暁の鶏

花垣其咲

武 品川 鳥山氏

秋のよれ
稲妻に
おくさ
虫よしろ
雪ふるへぬ
露の
白玉

富泉亭
守蔭

信 諏訪 松村氏

よゐるより
うへらぬ
ふみを
あつまる筆經
ゐらのれし
ぬる花の
さし波

田垣真篤

信高遠 赤羽氏

帳
箱

寄子鶯
杉むあへぬ
くれ鶯の
さよの
それのつのいい
あかれ
ありふ經

燕栗園千穎

江戸 西村氏

五月雨に
くさを折りけり
はまれあすの
神和あふとれ
日和と音
なる

東花庵可舎人

江戸 稲葉氏

梓たくよ
契りし人を
おもひつれ泥
額こと
うち見るみをと
いろは
寝んとき

百中亭筈高

奥會津 白澤 深羽氏

信松本
中林村 横内氏

吹ちやみ
あゆく待宵
うき雲
東西を
こゝろに
かゝれて
はやうつる

義知垣樵人

東風亭巴流喜

まれ
よのふき
いさよひ
出る月を
まて
ちやさぬも
あまれ
ちりゆく

越
神田 冨永氏

峯垣真高

いひ出む
言葉の
いろを
あや
とりて
むすふ
えまし
とら
かれ
しら
より

信 松本 曽根原氏

遠地瀧津

まこ
しらぬ
人のこゝろの
底まても
くみて
しるは
濁ることそ
あれ

越 梶村 大滝氏

桂林堂 月好

月の中へ一文字ひきて上野や影田のやう成ゆくか初雁

信梨澤 泉珠院

皓埣亭 雛機

伊波の海ちよこりを積出くはしるあら浪のあしのめさく

駿河 半田氏

まつことの
あまりて
さびしき
日暮れく姫
ねちて持ちてよ哉
秋の
夕暮

七珍斎
万賀

江戸
曽根氏

雪とやら
ちらぬさくれ
うら庵の
おもに
甚道人を
厭ふ
あし
ね

俳道堂駒人

越
直江津 石井氏

流霞亭 春也

こゝろには
うれしく窓の
やり戸風
とめつるには
涼かな
なすも理

信 諏訪北澤氏

菴原酒郁

涼しさに
月も山まで
今朝(?)て
あくれを
惜む雅彦丸
空

江戸 田上氏

江戸 中村氏

遊ぶれ
みるもゆかし
なつかしう
武蔵の
うつし書
きこゆる
むかし男に

東風亭松門

信松本 百瀬氏

花結 素呈

夏衣
しまぬ
あやひに
似ける
乱
きこえしも
このあひ
み綵乃
しら
飛雲

晉秋菴可彩

あし
もとに
負ける
よりも
目をきれ
行きたる
しきよ
今の花と
寺

越高田 吉田氏

堀廼屋内人

家持て
見る
春雨の
咄なれや
妹のみきて
まれらし
なし

信 佐久下平尾 堀内氏

信 諏訪 宮坂氏

やよしの
風もろ〳〵ハ
穂なみ
より
秋の田つらに
見る繁うら

千代園真起良

越直江津 光明寺

く羅ゐ里を
銑をわく
まゐ
稲葉の
ひゞ理を
我とし
清きあつり
り程

墨浴庵柚下弥

大佛も
宮より
みえきち
旅つかれん
春の
暇うす
のあるひ
ちり残

連語窓高唐

信高遠
北原氏

ゆう居
於免門

冬枯井し
さくらの
春し
ゑひ野き
月の舟
ごく毛乃
ちら波

江戸
吉田氏

秋来て野の千種乃花のいろ〳〵にこゑを染て虫や啼らむ

萬歳亭清寿女

江戸 田上氏女

つゆまでもぬれて通るは露さへ袖にあはれなる秋の夕ぐれ

松樹園巣垣

信 諏訪 北澤氏

色まさは
はる
えうらし
れく
月をみる
人こそ松の
あらしも
まれ

東雲亭量

信 諏訪 金井氏

祭酒門
雛呂

いとまやも
多からむ
月みれ
車井行
楽と世
くまむ
あれし
芳水

江戸 齋藤氏

眺富亭 満盛

よし野河
岩はしまり
たかやき
影を
花ちつ見れ
日数もなき
一の難

江戸 田村氏

語狸園 九麿

たつた山
峯よりのぼる
影をあふぎ
もみぢ
錦の
ほとりなる
難ん

信 高遠 白木屋

糀廼戸 亀光

家とみと
もち打桶に
あまされて
そらより通ふ
出家か
月影

越 神田冨永氏

富廼屋 永磨

ひとすぢの
あま河原は
織姫の
織り
織かけてある
機と見え
けり

越 神田冨永氏

春色け
福寿草に
学文
寒のうち
言葉も多や
明る日つらん

梅垣古枝

越 島倉 植木氏

居つゝみ
あゆみを
ならしけり
梅風れ
春の見ゆ人字
寒ゆく家かれ

廣瀬 水青

出羽庄内 在江戸 廣瀬氏

江戸 大崎氏

旅立の
きぬのさみれ
うつし 書ならべ
とゝまりゆく々
風も志らしれ

筆垣真春

信 埴科新田 長左歌氏

有明楼 月也

世の中の
うき思ひ
なにもさらし あれ
月の雪まつ
帰れたり

音狸

きみは
月のみならい
あし曳の
やまれ塔
よりも
借出し
音

信 上平尾 土屋氏妻

文め

連話亭 南可伎

ひとまれ
月の
かつらに
大きさの
星影
林き
下れた
下字

信高遠 北原氏

敷しまの
大和言葉の
あやまりも
知らまく
よき文書の
余

永日堂春丸

越高田 山岸氏

むかしより
民もしたしき
橘を植
桜の家の
梢かな
うゑけむ

萬知園 満都子

江戸 高田氏妻

ゆくさ乗
下駄の
はくの
音うし
ほえて詠よ
なり
庵の初雪

梅窓園親好

江戸 杉浦氏

我ひとり
こゝに
鴫也
居りしか
庵も
月を中川
むしのこゑ

阿廼屋高住

越 直江津石田氏

相ろゆて
あかりゝくも
おかしし
是非の
うちを祢
きつね
かゝり
鶯

千條亭長足

奥會津善栁 馬場氏

桜木を
薪はよけ鶯
時しらぬ
竜の白
雪
折まぎれ
ひく

雀躍亭竹村

江戸 足立氏

鰒喰ハ形なきも中より玉光る國のまなこやむさし山帰

那芝園糸頼

江戸 山本氏

みやこまでゑつる雲のはれきぬを山里よりや動き出羅ん

藤園千房

越高田 室氏

蓬莱亭 安則

おしけりぬる
思ふりし
させる
岩つゝし
咲てたなひく
浪かけて
うつろふそて
見る

奥会津
中津川 東原氏

松廼門 羽鳳

くだけても
ちよをかけ
まつかれ
掃ふ
そのまゝは
岩ねし
言さして

越 高田 松岡氏

梅寿園　三千彦

きらく
たてる
あれさうても
うらくしは
舞の
きぬの
ふ羅あの
園

江戸　田村氏

松園　千鶴

嘆きに
ひかりを
そへて
うれはしさ
鏡にむかふ
けしきれ
秋の月

信松本　酒井氏

蕪菁真玉

鈍き刀
なまくらく
きれもせで
つきはしても
似ても
こよの紫い
ひと川なり

寄刈

信　諏訪　宮阪氏

兵部亭　忠直

すゝとやすり
よまれぬ
猫も
人なみに
手洗つゝそ
きよめしけり

寄る

江戸　金子氏

あかつきに筆
筆の毛を
含はして
書よむ窓の
夜鳴鶯

弥生菴雛丸

江戸 小野氏

よ紅葉を
見むと枕哉
たつ錦
あり
紅葉ふして
ま川
ながれ
ゆく

智範尼

信諏訪北澤氏娘

山里は
雲を隔て
て
月よりも
まさき
とられ
垣の野
乃花

星合真梶

越梶村 野田氏

おもひ姿や
忘れ
山路に
入初て
月雪もそれを
忘るゝ見し
とも

千代室
鶴成

上野館林 横山氏

平春時

梅かをらぬ
よそふしきぬも
立なから
くちて
う數みれ
たく
のまゐろみ

江戸 金子氏

秋冨敍月好

花やさく
ちりぬれ
あらもに
さくら花を
あらにみつき
の
ひのさしを
しう

信 諏訪 小平氏

漸玉亭清丸

萩のうへに
おく志ら露の
玉はゝき
ちりによける
あと見ゆる
安蛛哩

信 諏訪 牛山氏

浦酒屋 観潮

濱よ所雲
ちゝみの糸る
あれぬ
契し
嘆し
さく所に
船乳
つなまそ

相模三崎 湊氏

嵩口亭
山瞭

有りつり
みち
霰ふ
あら玉
春も来れ
あるかに
見え
新れ梅の香

周防山口 平野氏

萬葉堂
芝何呂

いとけ
形き夫の
ころつばんそ
あつま如もれ
出れ
中の人

信 高遠 大林氏

桜花
あのゝ
をみなえし
志里とのけく
たちまくく
をしお
花のうへ日

千載亭
友年

信
東上田 田中氏

咲花や
中に
つかみの
おかかるさ
まこはる
あの紀
色とこそ
見え

賞月楼
見空

越
直江津 竹田氏

佐渡相川 石井氏

年ごとに
わかきこころを
捨てずして
まよはぬ道に
あくる
老いし
白髪

安閑堂夏海

難波江の
あしの
うれ葉を
たわむまで
なみにふりても
つもれ
白雪

象垣墨子

江戸西東氏女

信東条立川　山本氏

寝覚きよ
こゝろの
ひかりに
さらしつゝ
雪もかゝる
も月あれ
穴

香爐亭　東雲

越高田　室氏

世をそひ
なし
葉うは
つらく
清き
そうれ
高田の常の
中
絶る
なき

平波住

越てより
この葉見え
それ迄
加賀の山

それは
いまだ
多河
雲と
ある
宰程

白月楼 早雅

本信 御影 中村氏

雪きえし
木曽の
よ乗て
あそふ
なら
うちかる
月毛に
松かけ
の駒

青月堂鶴納

江戸 小野氏女

よ所き姉て
きよし山
錦わかれ
菅をゆく
きてなき
留り
むかし里の
秋

笛園
作女

江戸北見氏妻

うゑの山て
さかれし
篇れ
もみちやま
根を
あまり
あつき
月やかゆる
野山

紀作也

信
安原
中澤氏

春風に
それをいとひて
舞まよてたる
鳥はうつ銭
ちらせるとふ
銀杏亭満門

江戸 西東氏

ちる
きての
あるも
いらぬ
園来し
花をたつる
春雨そふる
豊年舎比斜志

信 高遠 廣瀬氏

霜ふらむ
こよひ紙子の
吹風に
もみぢ散るらむ
庵の
袖垣

春日園
長杲

信 高遠 春日氏

梅見えぬ
さくら狩の
軒まで
やどれて
いよゝ庵に
たゝぬ
ちる
雪

錦画屋妻子

江戸 小辻氏女

咲みちし
さくらし
みやきの
色こめて
にほひうつる
華乃袖かな

永壽堂金從

江戸 小过氏

咲きをしむ
あらしの
まそれ
しられ雲
いつちの人の
袖ぬらさ
羅ん

衣手垣主人

信 諏訪 大和氏

越 直江津 竹田氏

千代垣 素直

う霞く さに をりしく 君を こふのして ささにあふさう 春れ 山風

信 高遠 志村氏

八雲園可恭保

谷川に うけやらし 出る丸木橋 ゆふかうりてる 落む 月のけ

ふきしられ
霧こさ　あやう
ゐうろの　まか
らふありと思ふ
能ふし

萬秋亭何哉翁

信　高遠　中川氏

歡合木園　水枝

かけろけ　不
羽ふれ　あるうち
飛るの　あまのれ　山ゐ
おもしろき　山

江戸　柏木氏

森集亭繁門

くみかはすこゝろ
しれ
味ひも
おなしものの
ふる川よ経　うきまに
酒の
玄の縁

奥盛岡　毛馬内氏

立なから
ものまちを
お飾し
涼山来ぞ
推ていゐるとき
花の初春

秋長堂物簗

江戸　伊藤氏